tapestry

本資料は、タペストリー・インクが2026年11月5日（木）午前7時（日本時間：同日午後9時）に発表したプレスリリースの日本語翻訳版です。

＜報道関係者各位＞

タペストリー・インク
2027 年度第 1 四半期の業績を発表
通期業績見通しを上方修正

第 1 四半期の収益、売上総利益率、営業利益率及び EPS がガイダンスを上回る

- **コーチの 16%成長が牽引し、収益は 19 億ドル、前年同期比は報告書ベースで 11%増、プロフォーマベースで 12%増**
- **売上総利益率は GAAP ベースで 230 ベーシスポイント拡大、非 GAAP ベースで 220 ベーシスポイント拡大**
- **希薄化後 EPS は GAAP ベースで前年同期比 38%増の 1.76 ドル、非 GAAP ベースで前年同期比 32%増の 1.82 ドルを達成**
- **配当金の支払いと自社株買戻しプログラムによって約 7 億ドルを株主に還元**
- **追加の自社株買いにより 2027 年度の資本還元見通しを 20 億ドルに増額**
- **収益、営業利益率、利益の 2027 年度見通しを引き上げ**

こちらのリンクから各ブランドの解説を含む 2027 年度第 1 四半期の業績説明資料（英語のみ）がダウンロードできます。

ニューヨーク 2026 年 11 月 5 日 – ニューヨークに本拠地を置き、アイコニックなアクセサリー＆ライフスタイル ブランド、コーチ及びケイト・スペード ニューヨークを展開するグローバル企業 タペストリー・インク（NYSE：TPR）は、本日、2026 年 9 月 26 日に終了した 2027 年度第 1 四半期の業績を報告しました。

タペストリー・インク最高経営責任者 ジョアン・クレヴォイセラのコメント

「第1四半期は収益、利益率及び利益がいずれも予想を上回る伸びを見せ、世界各国で堅調に推移するなど、力強い滑り出しとなりました。当社のAmplify戦略はクリエイティビティー、クラフトマンシップ、バリューという独自の組み合わせを通して、引き続き各ブランドに新たな消費者を呼び込んでいます。この好調な業績を背景に通期業績見通しを引き上げ、成長の持続性に対する当社の自信を示しました。

これらの成果を支えているのは、消費者に対する深い理解、データドリブンなアプローチ、世界的な規模といった、時間をかけて着実に積み重ねてきた当社の強みです。これらすべてがお客様、チーム、株主への長期的価値を創出し続けることで、最大の好機が今後も広がっていくという揺るぎない信念をより強固なものにしています」

タペストリー・インク2027年度第1四半期の業績に関するハイライト（未監査）- 単位は百万ドル（ただし1株当たりの数値を除く）

	下記期日に終了の四半期			
	2026年9月26日	2025年9月27日	増減率	恒常通貨ベースの増減率
売上高	$ 1,894	$ 1,705	11%	11%
プロフォーマ財務情報の売上高[1]	1,894	1,690	12%	12%
売上総利益	$ 1,488	$ 1,301	14%	
売上総利益率	78.6%	76.3%	230 bps	
非GAAPベースの売上総利益[2]	$ 1,490	$ 1,293	15%	
非GAAPベースの売上総利益率[2]	78.7%	76.5%	220 bps	
営業利益	$ 424	$ 328	29%	
営業利益率	22.4%	19.3%	310 bps	
非GAAPベースの営業利益[2]	$ 439	$ 354	24%	
非GAAPベースの営業利益率[2]	23.2%	20.9%	230 bps	
希薄化後1株当たり利益	$ 1.76	$ 1.28	38%	
非GAAPベースの希薄化後1株当たり利益[2]	1.82	1.38	32%	

[1] プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、上掲の前期におけるスチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。財務諸表2をご覧ください。

[2] GAAPから非GAAPへの調整については財務諸表3をご覧ください。

プロフォーマ収益情報の概要（未監査）- 単位は百万ドル

	2026年9月26日に終了の四半期	増減率	
		報告書ベース	恒常通貨ベース
ブランド			
コーチ	$ 1,661	16 %	16 %
ケイト・スペード	233	(10)%	(10)%
地域			
北米	$ 1,110	4 %	4 %
中国全体[2]	385	43 %	39 %
日本	103	(5)%	4 %
その他アジア諸国[2]	114	26 %	23 %
欧州	151	20 %	22 %
その他[2]	31	11 %	11 %
タペストリーのプロフォーマ収益情報[1]	**$ 1,894**	**12%**	**12%**

[1] プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、スチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。財務諸表2をご覧ください。

[2] 各地域に含まれる国については下記の「タペストリー・インクについて」をご覧ください。

タペストリー・インクの戦略に関する主なハイライト

タペストリー・インクは、盤石な成長を下支えする以下の4本の柱に焦点をあてた**Amplify成長戦略**を進展させました。

- **消費者とのエモーショナルなつながりを構築**

- **ファッションの革新性と製品の卓越性を向上**
- **魅力的なエクスペリエンスを提供しグローバルな成長を推進**
- **私たちの人材の力を最大化**

この戦略はタペストリー・インクの業績を加速させるとともに、長期的成長を支える競争優位性をさらに強固なものにしています。

2027年度第1四半期のハイライトは以下の通りです。

- **グローバルで新規顧客獲得を加速**した結果、2027年度第1四半期に260万人の新規顧客を取り込み、そのうちの約35%がZ世代でした。同時に既存顧客からの需要が増加し、タペストリー・インクが消費者と永続的な関係を構築できることを明確に示しました。
- **主力のレザー製品が力強い成長を達成。**これには、平均小売単価が2桁台前半の増加、販売数が1桁台前半の上昇となったコーチのハンドバッグの増収が貢献しており、同ブランドの求心力、イノベーション、バリュープロポジションを際立たせました。
- **全地域で広範な成長を実現し、マーケットシェアを獲得するとともにカテゴリー全体を拡大させました。**第1四半期中、プロフォーマ財務情報の恒常通貨ベースで、北米は4%増収、ヨーロッパは22%増収、APACは中国全体の39%を含む28%の増収でした。**コーチは16%（北米7%、海外30%）の増収を達成しました。**
- **D2C**は、店舗が2桁台前半、デジタルが1桁台半ばで上昇し、**プロフォーマベースで9%の増収となり、予想を上回り**ました。また、卸売は海外マーケットに牽引されて約30%の成長となりました。各チャネルにおける高い収益性により、消費者のニーズに的確に応え、ブランド価値を高めるエクスペリエンスを提供しながら、魅力的なリターンを創出することが可能となっています。

全体として、タペストリー・インクはプロフォーマ収益の12%増、非GAAPベースの営業利益の24%増、非GAAPベースの希薄化後 1 株当たり利益の32%増を達成し、ブランド構築力、世界的な規模、規律ある遂行の複合的な優位性を実証しました。

株主還元プログラム

タペストリー・インクは現在のところ、資本還元プログラムを通して2027年度中に前回ガイダンスを上回る約20億ドル（2027年度第1四半期に株主還元した約7億ドルを含む）を株主還元する予定です。

- **配当金の支払い:**タペストリー・インクの取締役会は、2026年12月4日の営業終了時点の株主名簿記載の株主に対し、2026年12月21日に1株当たり0.4625ドルの四半期現金配当を行うと宣言しました。2027年度中、引き続きタペストリー・インクは1株当たり年間配当金は1.85ドルと見込んでいます。

- **自社株買戻しプログラム**：タペストリー・インクは現在のところ、現行の承認済み自己株式取得枠のもと、前回ガイダンスから3億5,000万ドル増加させ、年度内に17億ドルの普通株式買い戻しを実施する予定です。2027年度第1四半期中、タペストリー・インクは6億ドルを支出し、1株当たりの平均取得単価130ドルで約460万株の普通株式を買い戻しました。

非GAAPの調整

2027年度第1四半期中、タペストリー・インクは物流ネットワーク最適化イニシアチブ関連費用を計上し、営業利益が1,500万ドル、純利益が1,100万ドル、希薄化後1株当たり利益が0.06ドルそれぞれ減少しました。

GAAPから非GAAPへの調整の詳細については、本プレスリリースの財務諸表をご覧ください。

2027 年度第 1 四半期の業績

- **純売上高**：合計18億9,000万ドル、前年同期比は報告書ベース及び恒常通貨ベースで11%増となりました。前年同期のスチュアート・ワイツマン ブランドを除いたプロフォーマ財務情報における成長率は報告書ベース及び恒常通貨ベースで12%増でした。
- **売上総利益**：前年同期の13億ドルに対して、GAAPベースで合計14億9,000万ドルとなりました。非GAAPベースでの売上総利益は14億9,000万ドル、売上総利益率は78.7%となり、前年同期から220ベーシスポイント拡大しました。これには、業務改善による約130ベーシスポイント、関税及び諸税による70ベーシスポイントと為替による20ベーシスポイントが寄与しています。
- **販管費**：前年同期の9億7,300万ドルに対して、GAAPベースで合計10億6,000万ドルとなりました。非GAAPベースでの販管費は合計10億5,000万ドル、対売上比の販管費率は55.5%となり、前年同期から10ベーシスポイント減少しました。これにはマーケティング投資による140ベーシスポイント上昇が含まれます。
- **営業利益**：前年同期の3億2,800万ドルに対して、GAAPベースで4億2,400万ドルとなりました。非GAAPベースでの営業利益は前年同期比24％増の4億3,900万ドル、営業利益率は前年同期から約230ベーシスポイント増加し23.2%となりました。
- **支払利息の総額**：前年同期と同じ1,300万ドルでした。
- **その他の支出**：100万ドル未満。なお前年同期はその他の収入が400万ドルでした。
- **税率**：GAAPベースで12.5%、非GAAPベースで12.7%でした。なお前年同期の税率はGAAPベースで13.8%、非GAAPベースで13.7%でした。
- **希薄化後1株当たり利益**：GAAPベースでは前年同期の1.28ドルに対して38%増の1.76ドルでした。非GAAPベースでは前年同期の1.38ドルに対して32%増の1.82ドルでした。

貸借対照表とキャッシュフローに関する主なハイライト

- **現金及び現金等価物、並びに短期投資**の合計は7億8,200万ドル、**借入金残高の合計**は25億6,000万ドル。調整後EBITDAに対する総負債に基づくレバレッジ比率は2027年度第1四半期末時点で1.1倍でした。
- **棚卸資産**は前年度末の棚卸資産10億2,000万ドルに対して10億6,000万ドルでした。
- **営業活動によるキャッシュフロー**は前年同期の1億1,300万ドルの流入に対して1億9,700万ドルの流入でした。**調整後フリーキャッシュフロー**は前年同期の1億300万ドルの流入に対して5,600万ドルの流入でした。
- **設備投資及びクラウド化に関連する導入費用**は前年同期の3,800万ドルに対して5,500万ドルでした。

業績見通し

タペストリー・インクは2027年度業績見込みを上方修正しました。この見込みは非GAAPの比較可能な52週対52週ベースで提示しています。

- **収益**は恒常通貨ベースで約6%から7%の前年比成長率を反映して約85億ドルから86億ドルの範囲。為替は当該年度の収益に30ベーシスポイントのプラスの影響を及ぼす見込み。これは前回ガイダンスの84億ドルから85億ドルの範囲から上昇しています。
- **営業利益率**は前年比約100ベーシスポイントの拡大。これは約50ベーシスポイントの拡大という前回ガイダンスを上回るものです。
- **支払利息の総額**は前回ガイダンスの約5,500万ドルに対して約6,000万ドル。
- **税率**は前回ガイダンスの約18.5%に対して約18%。
- **希薄化後の加重平均株式数**は前回ガイダンスの約2億300万株に対して約2億株。
- **希薄化後 1 株当たり利益**は17%から18%の前年比成長率を反映して8.25ドルから8.35ドルの範囲。これは前回ガイダンスの7.80ドルから7.90ドルの範囲から上昇しています。
- **調整後フリーキャッシュフロー**は収益の約3%から4%に相当する設備投資及びクラウド化関連費用3億ドルを含む17億ドル弱で前回ガイダンスから変更ありません。

さらに2027年度第2四半期について、タペストリー・インクは以下を見込んでいます。

- **収益**は恒常通貨ベースで約5%から6%の前年比成長率。為替は当該四半期の収益に70ベーシスポイントのプラスの影響を及ぼす見込み。
- **希薄化後 1 株当たり利益**は10%台前半の前年比成長率を反映して約3.05ドル。

タペストリー・インクの非GAAPベースの見通しは以下を前提としていることにご留意ください。

- 2027年度の53週目の営業による影響を除外しています。この53週目は、通期の収益成長率を追加で1パーセントポイント押し上げますが、通期の営業利益率には実質的な影響を及ぼさない見込みです。
- 2027年度の米国での入荷に対し20%台前半から半ばの関税率を適用しています。その結果、前年比で関税に関する小幅なプラスの影響が見込まれます。
- OECDのPillar2ガイダンスの影響を含む現行のグローバル税制を反映しています。
- 外貨換算レートは予測時点でのスポットレートによるものです。
- インフレ圧力や消費者心理の大幅な悪化がない想定です。

これら及びその他の外的要因の動的な性質を鑑みると、業績が今回の見通しから大きく異なる可能性があります。

業績見通し：非 GAAP への調整

タペストリー・インクは、本プレスリリース及びカンファレンスコールにおいて提示された非GAAP財務指標をGAAPと完全に調整して提供することができません。これは指標に影響を与える特定の重要項目がまだ発生しておらず、現時点で合理的に見積もることができないためです。従って、タペストリー・インクの非GAAP財務指標のガイダンスのGAAP指標との調整は非論理的な手続きなく提示し得ません。

カンファレンスコールについて

タペストリー・インクは、本日 2026 年 11 月 5 日午前 8 時 00 分（米国東部標準時）に、今回発表の業績についてのカンファレンスコールを実施します。ご関心のある方は、インターネットにてライブのウェブキャスト www.tapestry.com/investors にアクセスされるか、カンファレンスコール（1-866-847-4217 または 1-203-518-9845 にダイアルし、カンファレンス ID 1183076 を入力してください）へお申し込みください。電話による再放送（1-800-283-4641 または 1-402-220-0851 にダイアル）は同日の米国東部標準時、正午より 5 営業日の間お聞きいただけます。ウェブキャストの再放送はタペストリー・インクのウェブサイト上で 5 営業日の間アクセスすることができます。業績説明資料も www.tapestry.com/investors でご覧いただけます。

今後の予定について

タペストリー・インクの 2027 年度第 2 四半期の業績発表は、2027 年 2 月 4 日（木）の予定です。

今後お知らせを受信されたい方は www.tapestry.com/investors（“Subscribe to E-Mail Alerts”）にご登録をお願いします。

タペストリー・インクについて

タペストリー・インクは、コーチとケイト・スペード ニューヨークの魅力を集結させた、アイコニックなアクセサリー＆ライフスタイル ブランドを展開するグローバル企業です。個々の象徴的ブランドがひとつになることで無限の可能性を追求し、ブランド単独では到達できない領域をさらに発展させて新たな地域や世代へとリーチを拡大します。お客様からインスピレーションを得て、ブランドへの永続的な愛着を育み、日々の生活を豊かにするエクスペリエンスと製品を創出しています。タペストリー・インクの詳細については http://www.tapestry.com （英語のみ）をご覧ください。タペストリー・インクに関する重要なニュースと情報については、Investor Relations のセクション www.tapestry.com/investors をご覧ください。さらに、投資家の皆様はタペストリー・インクのニュースリリース及び証券取引委員会への報告を引き続きご確認ください。タペストリー・インクは投資家の皆様への主要な情報の配信網としてこれらを活用しており、一部には重要情報や未公開情報が含まれている場合があります。タペストリー・インクの普通株式はニューヨーク証券取引所でティッカーシンボル TPR で取引されています。

当プレスリリースには将来の見通しが含まれていますが、実際の結果は事業に及ぼす様々なリスクや不確定な事由により現在の見通しと異なる可能性があります。タペストリー・インクは、法律で求められる場合を除き、いかなる理由でも当資料に含まれる将来の見通しに関する記述内容を修正または更新する義務を一切負いません。

経営陣は非 GAAP 及び恒常通貨の指標を使って事業を行い、該当期間に関する営業成績の定期報告の間に事業を評価し、会社のリソース及び業績に関する意思決定を行います。タペストリー・インクは、これらの比較可能性に影響を与える項目を除く非 GAAP 指標を提示することは、投資家及びその他の人々が会社の継続的な営業成績や財務結果を経営陣の業績評価と一致する方法で評価し、それらの結果を会社の過去の業績と比較して理解する上で役立つものと確信しています。さらにタペストリー・インクはこれら指標を恒常通貨ベースで表示することは、前年比の為替レートの変動がこれら業績指標に与える重大な影響について投資家及びアナリストの理解を助け、これらの影響を除外した場合の業績及び業績見込みを評価する枠組みを提供するものと確信しています。

タペストリー・インクは米国会計基準(GAAP)に従って情報を報告しています。経営陣が、非 GAAP 財務指標を、GAAP に基づいて作成された財務情報から切り離して単独で評価したり、その代用とすることは無く、投資家にそれを推奨するものでもありません。また、タペストリー・インクが用いた非 GAAP 指標はタペストリー・インク特有のものである場合があり、他社が用いる非 GAAP 指標とは異なる場合があります。

タペストリー・インクはグローバルに事業展開しており、財務業績は GAAP に基づいて米ドル建で報告しています。タペストリー・インク及び各セグメントの純売上の増減率は、外貨建て売上の米ドル換算による為替変動の影響を算入・除外し、前四半期及び前年同期と比較して表示しています。タペストリー・インクは、前期の月平均の換算レートを使用して当期の純売上を現地通貨に換算することで恒常通貨ベースでの純売上を算出しています。2025 年 8 月 4 日に完了したスチュアート・ワイツマン ブランド売却により、タペストリー・インクは当四半期及び前年同期の両期間のスチュアート・ワイツマン ブランドの売上高を除外したプロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率を提示しています。プロフォーマ収益情報の概要では、中国全体に中国本土、台湾、香港特別行政区、マカオ特別行政区が含まれます。その他アジア諸国にはマレーシア、オーストラリア、韓国、シンガポール、主にアジアに位置するその他の国が含まれます。その他は主にライセンシングパートナーからのロイヤリティー収入と中東の売上を示しています。

タペストリー・インクは、セグメントの営業利益(損失)、セグメントの販売管理費、セグメントの売上総利益、販管費率、営業利益率、営業利益(損失)、法人税等、純利益(損失)、希薄化後 1 株当たり純利益(損失)を含む一部の非 GAAP 指標を示していますが、該当する場合は、物流ネットワーク最適化費用、買収及び売却費用、組織効率化費用を含む比較可能性に影響を与える項目を除外しています。最も直接的に比較可能な GAAP 指標との調整は本リリースに提示している表に記載しています。

タペストリー・インクは、非 GAAP の指標である調整後フリーキャッシュフローも提示しており、営業活動によって得られた(使用された)正味キャッシュフローから固定資産の取得額を差し引いた金額に、営業活動によるキャッシュフローに含まれる比較可能性に影響を与える項目のうち、物流ネットワーク最適化費用、買収及び売却費用、組織効率化費用に関連するキャッシュへの影響、営業資産及び負債の変動の比較可能性に影響を与える項目に関連するキャッシュへの影響を調整して算出しています。タペストリー・インクは、調整後フリーキャッシュフローが、営業支出、事業への投資及び比較可能性に影響を及ぼす項目に対する資本支出後に利用可能なキャッシュを示す重要な流動性の指標だと考えています。また調整後フリーキャッシュフローはタペストリー・インクのキャッシュの創出力や支払能力を評価するために投資家にも有用であると考えています。タペストリー・インクの事業上の資金需要や債務が充足されれば、キャッシュは強固な財務基盤の維持、将来的な成長に向けた投資、株主への資本還元に使用できます。

タペストリー・インクは非 GAAP の指標であるレバレッジ比率も提示しており、1 年内返済予定長期借入金と長期借入金を含む負債の合計である負債総額を直近 12 か月の調整後 EBITDA で割って算出しています。調整後 EBITDA は、支払利息の総額、法人税等、減価償却費、クラウドコンピューティングの償却、株式報酬費用、物流ネットワーク最適化費用、買収及び売却費用、組織効率化費用、EEPA に基づく関税の還付、を含む比較可能性に影響を与える項目を除いた純利益（損失）です。タペストリー・インクは、レバレッジ比率は当社の盤石な財務基盤及び信用度を評価する重要な指標であり、投資適格格付け維持へのコミットメントを示しています。

###

財務諸表１：連結損益計算書

タペストリー・インク
連結損益計算書
2026年9月26日及び2025年9月27日終了の四半期
（単位：百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く）

	（未監査） 下記期日に終了の四半期	
	2026年9月26日	**2025年9月27日**
売上高	$ 1,894	$ 1,705
売上原価	406	404
売上総利益	1,488	1,301
販売管理費	1,064	973
営業利益（損失）	424	328
支払利息	13	13
その他の支出（収入）	—	(4)
税引前利益（損失）	411	319
法人税等（便益）	51	44
純利益（損失）	$ 360	$ 275
1株当たり純利益（損失）		
基本	$ 1.81	$ 1.32
希薄化後	$ 1.76	$ 1.28
1株当たり純利益（損失）の算出で使用した株式数		
基本	199.3	207.6
希薄化後	204.5	215.5

財務諸表 2:売上高内訳

タペストリー・インク
売上高内訳
2026年9月26日及び2025年9月27日終了の四半期
(単位:百万ドル)
(未監査)

	下記期日に終了の四半期			
	2026年9月26日	2025年9月27日	増減率	恒常通貨ベースの増減率
コーチ	$ 1,661	$ 1,430	16 %	16 %
ケイト・スペード	233	260	(10)%	(10)%
スチュアート・ワイツマン	—	15	算出不能	算出不能
タペストリー合計	**$ 1,894**	**$ 1,705**	11 %	11 %
タペストリー合計のプロフォーマ財務情報[1]	**$ 1,894**	**$ 1,690**	12 %	12 %

[1] プロフォーマ財務情報の売上高及び関連する増減率には、スチュアート・ワイツマン事業の報告書ベース及び恒常通貨ベースの売上高は含まれません。

財務諸表 3 及び 4：連結セグメントデータ及び GAAP から非 GAAP への調整

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
（単位：百万ドル、ただし1株当たりの数値を除く）
（未監査）

	2026年9月26日終了の四半期		
	比較可能性に影響を与える項目		
	GAAPベース（報告書）	物流ネットワーク最適化費用*	非GAAPベース（特殊要因除外後）
売上総利益			
コーチ	1,336	—	1,336
ケイト・スペード	152	(2)	154
売上総利益	$ 1,488	$ (2)	$ 1,490
販売管理費			
コーチ	746	—	746
ケイト・スペード	172	12	160
会社	146	1	145
販売管理費	$ 1,064	$ 13	$ 1,051
営業利益（損失）			
コーチ	590	—	590
ケイト・スペード	(20)	(14)	(6)
会社	(146)	(1)	(145)
営業利益（損失）	$ 424	$ (15)	$ 439
支払利息	13	—	13
その他の支出（収入）	—	—	—
法人税等	51	(4)	55
純利益（損失）	$ 360	$ (11)	$ 371
希薄化後1株当たり純利益（損失）	$ 1.76	$ (0.06)	$ 1.82

＊ 主にオハイオ州の自社フルフィルメントセンターからペンシルベニア州の外部施設への移行に関する費用

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
（単位：百万ドル、ただし1株当たりの数値を除く）
（未監査）

	2025年9月27日終了の四半期			
	比較可能性に影響を与える項目			
	GAAPベース（報告書）	買収及び売却費用*	組織効率化費用**	非GAAPベース（特殊要因除外後）
売上総利益				
コーチ	1,126	—	—	1,126
ケイト・スペード	167	—	—	167
スチュアート・ワイツマン[1]	8	8	—	—
売上総利益	$ 1,301	$ 8	$ —	$ 1,293
販売管理費				
コーチ	639	—	1	638
ケイト・スペード	161	—	—	161
スチュアート・ワイツマン	9	9	—	—
会社	164	14	10	140
販売管理費	$ 973	$ 23	$ 11	$ 939
営業利益（損失）				
コーチ	487	—	(1)	488
ケイト・スペード	6	—	—	6
スチュアート・ワイツマン	(1)	(1)	—	—
会社	(164)	(14)	(10)	(140)
営業利益（損失）	$ 328	$ (15)	$ (11)	$ 354
支払利息	13	—	—	13
その他の支出（収入）	(4)	—	—	(4)
法人税等	44	(2)	(2)	48
純利益（損失）	$ 275	$ (13)	$ (9)	$ 297
希薄化後1株当たり純利益（損失）	$ 1.28	$ (0.06)	$ (0.04)	$ 1.38

[1] 2026年度の第1四半期における2025年8月4日の売却完了前のスチュアート・ワイツマン事業の売上高は1,500万ドル、売上原価は700万ドルでした。

* スチュアート・ワイツマン事業売却に伴いタペストリー・インクが負担した費用
** 主にテクノロジー費用や退職費用に関連する組織効率化費用

財務諸表５：連結（要約）貸借対照表

タペストリー・インク
連結（要約）貸借対照表
2026年9月26日及び2026年6月27日現在
（単位：百万ドル）

	（未監査） 2026年9月26日	（監査済） 2026年6月27日
資産		
現金及び現金等価物、並びに短期投資	$ 782	$ 1,152
売掛金	343	237
棚卸資産	1,055	826
その他流動資産	561	667
流動資産合計	2,741	2,882
有形固定資産（減価償却後）	507	502
オペレーティングリース使用権資産	1,512	1,417
その他固定資産	1,855	1,891
資産合計	$ 6,615	$ 6,692
負債及び資本		
買掛金	$ 679	$ 582
未払債務	633	755
短期オペレーティングリース負債	301	308
1年内返済予定長期借入金	597	—
流動負債合計	2,210	1,645
長期借入金	1,960	2,379
長期オペレーティングリース負債	1,371	1,266
その他負債	730	710
株主資本	344	692
負債及び資本合計	$ 6,615	$ 6,692

財務諸表 6：連結（要約）キャッシュフロー計算書

タペストリー・インク
連結（要約）キャッシュフロー計算書
2026年9月26日及び2025年9月27日終了の3か月
（単位：百万ドル）

	（未監査） 2026年9月26日	（未監査） 2025年9月27日
営業活動によるキャッシュフロー		
当期純利益（損失）	$ 360	$ 275
当期純利益から営業活動によるキャッシュフローへの調整		
減価償却費	40	37
クラウドコンピューティング契約の償却	14	14
その他の非現金項目	37	79
営業資産及び負債の変動額	(254)	(292)
営業活動から生じた（に使用した）現金	197	113
投資活動によるキャッシュフロー		
固定資産の取得	(48)	(32)
有価証券の取得	(21)	(9)
事業売却による収入：譲渡した現金を除く総額	—	109
その他	16	1
投資活動から生じた（に使用した）現金	(53)	69
財務活動によるキャッシュフロー		
配当金の支払	(92)	(83)
自己株式の取得	(603)	(698)
コマーシャルペーパー発行による収入（償還による支出）純額	200	240
その他	(31)	(10)
財務活動から生じた（に使用した）現金	(526)	(551)
為替相場変動の現金及び現金等価物に対する影響	6	(12)
売却目的で保有する資産に分類される現金を含む現金及び現金等価物の純増（純減）	(376)	(381)
現金及び現金等価物の期首残高	$ 975	$ 1,100
現金及び現金等価物の期末残高	$ 599	$ 719

財務諸表 7：調整後フリーキャッシュフロー GAAP から非 GAAP への調整

タペストリー・インク
調整後フリーキャッシュフロー
GAAPから非GAAPへの調整
2026年9月26日及び2025年9月27日終了の四半期
（単位：百万ドル）
（未監査）

	下記期日に終了の四半期	
	2026年9月26日	2025年9月27日
営業活動による正味キャッシュフロー（GAAP）	$ 197	$ 113
固定資産の取得	(48)	(32)
比較可能性に影響を与える項目：買収及び売却費用	—	15
比較可能性に影響を与える項目：組織効率化費用	—	8
比較可能性に影響を与える項目：物流ネットワーク最適化費用	15	—
営業資産及び負債の変動の比較可能性に影響を与える項目		
未払負債	1	(1)
その他の資産 [1]	(109)	—
調整後フリーキャッシュフロー（非GAAP）	$ 56	$ 103

調整後フリーキャッシュフローは、営業活動によって得られた（使用された）正味キャッシュフローから固定資産の取得額を差し引いた金額に、営業活動によるキャッシュフローに含まれる比較可能性に影響を与える項目のうち、買収及び売却費用、組織効率化費用、物流ネットワーク最適化費用に関連するキャッシュへの影響、営業資産及び負債の変動の比較可能性に影響を与える項目に関連するキャッシュへの影響を調整して算出しています。

[1] 主にIEEPAに基づく関税の還付金。

財務諸表 8：調整後 EBITDA 及びレバレッジ比率 GAAP から非 GAAP への調整

タペストリー・インク
2026年9月26日終了の直近12か月（TTM）の調整後EBITDA及び2026年9月26日現在のレバレッジ比率
GAAPから非GAAPへの調整
（単位：百万ドル）
（未監査）

	下記期日に終了の四半期				TTM
	2025年12月27日	2026年3月28日	2026年6月27日	2026年9月26日	2026年9月26日
純利益（損失）：（GAAP）	$ 561	$ 344	$ 348	$ 360	$ 1,613
以下、調整項目					
支払利息	17	13	12	13	55
法人税等	136	72	81	51	340
減価償却費	40	39	45	40	164
クラウドコンピューティングの償却	14	15	13	14	56
株式報酬費用	29	27	26	31	113
比較可能性に影響を与える項目：買収及び売却費用	(1)	(3)	—	—	(4)
比較可能性に影響を与える項目：組織効率化費用	4	6	8	—	18
比較可能性に影響を与える項目：IEEPAに基づく関税の還付	—	—	(98)	—	(98)
比較可能性に影響を与える項目：物流ネットワーク最適化費用	—	—	10	15	25
調整後EBITDA（非GAAP）*	$ 800	$ 513	$ 445	$ 524	$ 2,282
2026年9月26日現在の負債総額 **					$ 2,557
2026年9月26日現在のレバレッジ比率 ***					1.1

* 調整後EBITDAは、支払利息の総額、法人税等、減価償却費、クラウドコンピューティングの償却、株式報酬費用、比較可能性に影響を与える項目の買収及び売却費用、組織効率化費用、減損費用、IEEPA（国際緊急経済権限法）に基づく関税の還付、物流ネットワーク最適化費用を除いた純利益（損失）です。
** 負債総額には2026年9月26日現在の1年内返済予定長期借入金と長期借入金が含まれます。
*** レバレッジ比率は、2026年9月26日現在の負債総額を2026年9月26日までの直近12か月の調整後EBITDAで割って算出しています。

財務諸表 9：ブランド毎の店舗数

タペストリー・インク
店舗数
2026年6月27日及び2026年9月26日現在
（未監査）

直営店舗数：	2026年 6月27日現在	出店数	（閉店数）	2026年 9月26日現在
コーチ				
北米	336	4	(1)	339
海外	637	11	(4)	644
コーチ合計	973	15	(5)	983
ケイト・スペード				
北米	178	—	—	178
海外	148	—	(8)	140
ケイト・スペード合計	326	—	(8)	318

###